



学校だより  
**桜っ子  
通信**

自ら学び  
自ら考え  
自ら行う

令和3年7月2日 第12号  
長崎市立桜町小学校長 野中正樹

## 1学期を振り返る12日間

いよいよ7月となりました。1学期終業式7月20日(火)を含めた登校日数も残すところあと12日間となりました。学校では、子どもたちが楽しみにしている夏休みまでに、学習のまとめや生活の様子を振り返る時期となりました。それぞれの学級で1学期の学習内容を振り返ったり、復習したりした後に、学期末テストなどを使って子どもたち一人一人の習得状況を確認し、「1学期に学んだことがしっかりと身に付くように」指導していきます。お子さん習得状況によっては、個別の課題などが出されることもあると思いますので、御家庭での励ましや声掛けなどをよろしくお願い致します。

あわせて、お子さんに基本的な生活習慣が身に付いているかを御確認願います。長崎市は平成26年に以下の「長崎っ子の約束『あ・は・は』運動」を策定し、幼児期から学童期にかけての子どもたちに基礎的な生活習慣がしっかりと身に付くよう、家庭と幼稚園・保育所、小学校が連携して取り組むことを推奨しています。

長崎っ子の約束「あ・は・は」運動

- ㊦ あいさつ・へんじ げんきよく！
- ㊦ はやね・はやおき・あさごはん！
- ㊦ はきものそろえ いいきもち！

お子さんは、「長崎っ子の約束『あ・は・は』運動」に書かれた基本的な生活習慣がしっかりと身に付いているでしょうか。特にこの時季は、規則正しい生活リズムやバランスのとれた食事は、とても大切です。十分な睡眠や休養、バランスの取れた食事をしっかりと摂ることで、桜っ子には残り少ない1学期を元気に登校してほしいと願っています。

なお、御家庭でスマホやタブレット等でゲームをしたり、動画やSNS等を見たりしているお子さんについては、利用目的や端末機器の使用時間等について、御家族でしっかり話し合ってくださいますようお願いいたします。

## 平和学習会を終えて

前号の学校便りで「桜っ子の心を見つめる教育週間」についてお知らせしましたが、多くの保護者に皆さんに御来校いただきました。5日間の来校者の延べ人数は453名でした。改めて感謝申し上げます。

教育週間では、各学級での命(生命)に関わる道徳科の授業だけでなく、各種の教育活動も実施しました。今回は「平和学習会 ～語り部の方の話を聞く会～」についてお伝えします。この平和学習会は「被爆体験を風化させないために、交流証言者の話を聞くことにより、被爆都市長崎市民としての自覚をもたせ、平和を希求する精神を啓培し、心の中に平和の砦を築かせるようにする」ことをねらいとして実施しました。交流証言者とは、被爆体験を受け継いでいきたいという意思をもった方で、交流を深めた被爆者の体験や思いを語り継ぐ活動を行っている方です。

6月22日(火) 本校の平和学習会にお越しいただいた 交流証言者の 山野 湧水(ゆうみ)さん(25歳)は、小学生のときの平和学習で平和活動などに関心をもち、高校生ピースボランティアとして平和活動をスタートされました。今回、被爆者の 池田 道明 さんとの交流を通してお聞きした被爆体験講話とともに、御自身の平和活動を通して感じたことや、平和への熱い思いを子どもたちに語っていただきました。参加した高学年の子どもたちにとって、とても貴重な経験となったようです。裏面に、5年生の感想の一部を掲載しておりますので、御一読ください。

### あいさつ名人に認定されました！

2年生の ○○ ○○さん と 5年生の ○○ ○○さんが「あいさつ名人」に認定されました。2人とも場に合ったすばらしい挨拶が認められました。これからも元気で気持ちのよい挨拶を期待しております！

～ さくらまち習慣 ㊦ マナー守るよ はしっこ歩き ～

山野さん、先日は平和や戦争、原子爆弾のお話をしてくださって、どうもありがとうございました。僕は、戦争の恐ろしさや平和の尊さについて考えが深まりました。中でも「戦争は人を変えてしまう。」という言葉が印象的でした。まさに、その通りだと思います。では、「人が変われば、戦争はなくなる。」という考えはどうでしょう。地球の全ての国がそれぞれを認め合い、協力し合って歩んでいく。そのうち問題が出てくると思います。しかし、国と国の意見が対立し戦争を起こすのではなく、平和に解決していけばいいと思います。山野さんの話はわかりやすく、参考になりました。少し暑い季節になってきましたね。しかし、僕たちは暑さに負けず平和学習をがんばります。山野さんも平和活動をますますがんばってください。

(〇〇 〇〇さん)

私は、湧水さんの話を聞く前は、深くまで平和のことについて考えたことも少なかったけど、話を聞いて、今はどこが平和なのかなど、考えるようになりました。そして、私は、湧水さんみたいに平和ボランティアをやってみたくなりました。私は、平和ボランティアができれば、世界中の人たちに、平和がどのようなことか、戦争がどれだけ恐ろしいものなのかなどを教えることができるように、平和のことを詳しく調べてみたいし、湧水さんみたいな人にも会ってみたいです。また、お話ができる 때가 あったら、うれしいです。

(〇〇 〇〇さん)

この前は、平和について教えていただきありがとうございました。山野さんの話を聞いて、「戦争は人の心を変えてしまうので、絶対にしてはいけない」と思いました。また、私たちの次の世代の人にも、昔、こんな恐ろしいことが起こった、戦争というとても恐ろしいことが起きたことを知ってもらいたいと思いました。お話を聞いて、怖いと思ったけれど、大切なことを聞かせてくださり、ありがとうございました。核戦争や差別をなくし、誰でも安心できる世界をつくりたいです。山野さんも平和活動をがんばってください。

(〇〇 〇〇〇さん)

この前は、お忙しい中、講話をしていただき、誠にありがとうございました。私は、話を聞いて心に残った言葉がありました。それは、「戦争は、人の心を変えてしまう。」という言葉です。一発の原子爆弾で多くの人々の心を変えてしまうと思うと、とても恐ろしくなりました。そして、私は、被爆を体験した池田さんと共感できたこともあります。背中にガラスの破片が刺さったお母さんを見たときの気持ちです。私も悲しく思い、涙が出そうになりました。平和というものは絶対に守っていくべきです。なので、山野さんのように平和を守る活動をしていき、世界で役立てられるようにしたいです。山野さんもこの活動を続けていってください。本当にありがとうございました。

(〇〇 〇〇さん)